

もっとこの先、地域とともに。



2020年12月25日

株式会社 愛知銀行

銀行保証付私募債での『サステナビリティボンド』発行引受について ★ JCRによるレビューで全国初! ★

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、株式会社ダイワテック（本社 名古屋市西区、代表取締役 岡 忠志）が発行するサステナビリティボンド^(※1)を引き受けすることとなりましたのでお知らせします。

銀行保証付私募債でのサステナビリティボンドの引受は、株式会社日本格付研究所（JCR）によるレビューにおいては、日本国内で初めてとなります。

当行は、今後もお客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

(※1) サステナビリティボンド

サステナビリティボンドとは、調達資金の用途を環境改善効果のあるグリーンプロジェクトおよび社会的課題の解決に資するソーシャルプロジェクト双方への融資または再融資に限定して発行する債券で、国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティボンドガイドライン2018年版」に則って発行されるものです。

記

1. 銀行保証付私募債の概要

発行銘柄	株式会社ダイワテック 第30回無担保社債（愛知銀行保証付および適格機関投資家限定）【サステナビリティボンド】
発行金額	50百万円
償還年限	5年
発行日	2020年12月25日
資金用途	ソーラーシステムハウス建設に係る支出に充当
総額引受人	愛知銀行
外部レビュー機関	株式会社日本格付研究所（JCR）
サステナビリティボンド評価	SU 1（最上位評価）

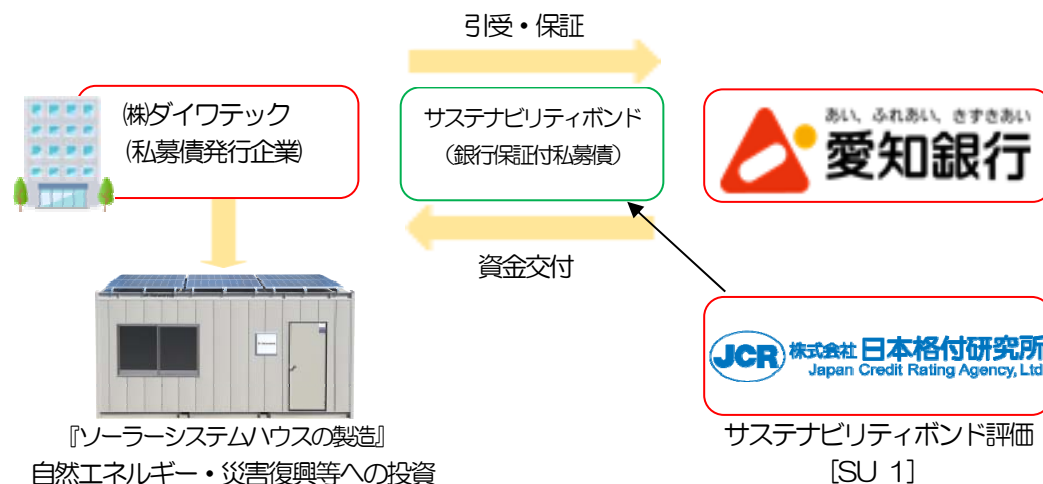
2. 発行企業の概要

会社名	株式会社ダイワテック
代表者名	岡 忠志
所在地	愛知県名古屋市区大野木3丁目43番地
設立	1982年2月4日
特長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社は、太陽光、風力、水力といった自然エネルギーを使い、電気を作り蓄電するシステムの開発、製造を行っています。 ■ 主製品の「ソーラーシステムハウス」は、インフラが整備されていない場所でも電気が使える事務所兼災害時の避難場所としても有用な商材で、国土交通省のNETIS^(※2)の登録も受けています。 ■ 災害時に近隣の現場から「ソーラーシステムハウス」を派遣する、災害連携協定を全国40市町村と締結しています。

(※2) NETIS

NETIS（新技術情報提供システム）とは、国土交通省が新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムです。

3. 本私募債によるサステナビリティボンド引受スキーム



4. サステナビリティボンドの適格性評価について

外部レビュー機関である株式会社日本格付研究所（JCR）により、本評価対象の資金使途である「ソーラーシステムハウスの製造」が、自然エネルギー・災害復興等への投資による環境改善効果、社会的な便益を有するプロジェクトであると評価され、総合的にサステナビリティボンド評価における最上位評価である「SU 1」を取得しています。また、本事業は一般社団法人グリーンファイナンス推進機構からの補助金交付が決定しています。

以上